

ーリハビリの詳細ー

緩和ケアチーム:リハビリテーション室の紹介

緩和ケアにおけるリハビリテーションについて

「がんのリハビリテーション」ではがん治療に伴って発生する副作用などに十分配慮しながら、痛みや筋力の低下、体力の低下などに対して二次的な障害を予防します。また、最近では重症な心不全患者さんなど「非がん」の方に対しても運動機能の低下や生活機能の低下を予防・改善することを目的としてリハビリテーションを実施しています。

いずれも、精神的・身体的な苦痛を少しでも緩和できるように、リハビリテーションの観点からサポートさせて頂いています。

対象となる患者さん

- ・がんの治療の為に手術をされる（された）方、化学療法・放射線治療をされる（された）方、また緩和ケア中心で入院し、在宅復帰を目的としている方。
- ・治療抵抗性の心不全など「非がん」疾患による内部障害で運動機能や日常生活動作能力が低下している方。

リハビリテーションの内容

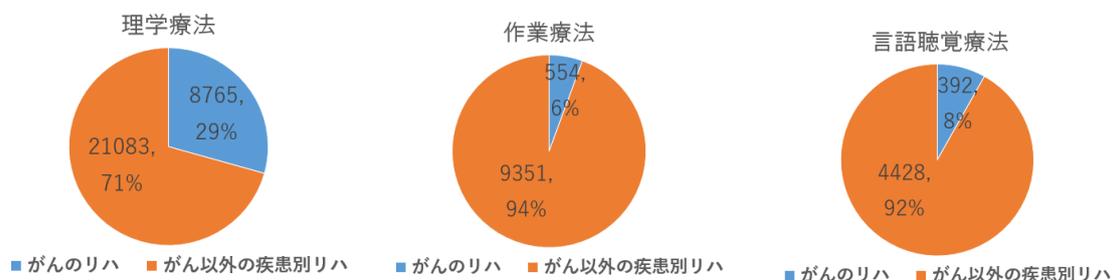
病期や個々の症状にあわせてリハビリテーションの内容が変わってきます。具体的には種々の運動療法や歩行練習、日常生活動作練習、物理療法、環境調整などを組み合わせて実施しています。できるだけ御本人の希望や思いに沿って、リハビリテーションの目標を共有したいと思っています。

認定資格

当院リハビリテーション室には日本終末期ケア協会認定終末期ケア専門士が 2 名在籍しています。

当院の疾患別リハビリテーションにおける「がんのリハビリテーション」の割合

令和3年度の当院の「がんのリハビリテーション」は理学療法 8765 件、作業療法 554 件、言語聴覚療法 392 件に介入しました。





患者さんが自分らしく生活できるように、
ご家族の笑顔が少しでも増えるように、
私たちは関わっていきたいと思っています。